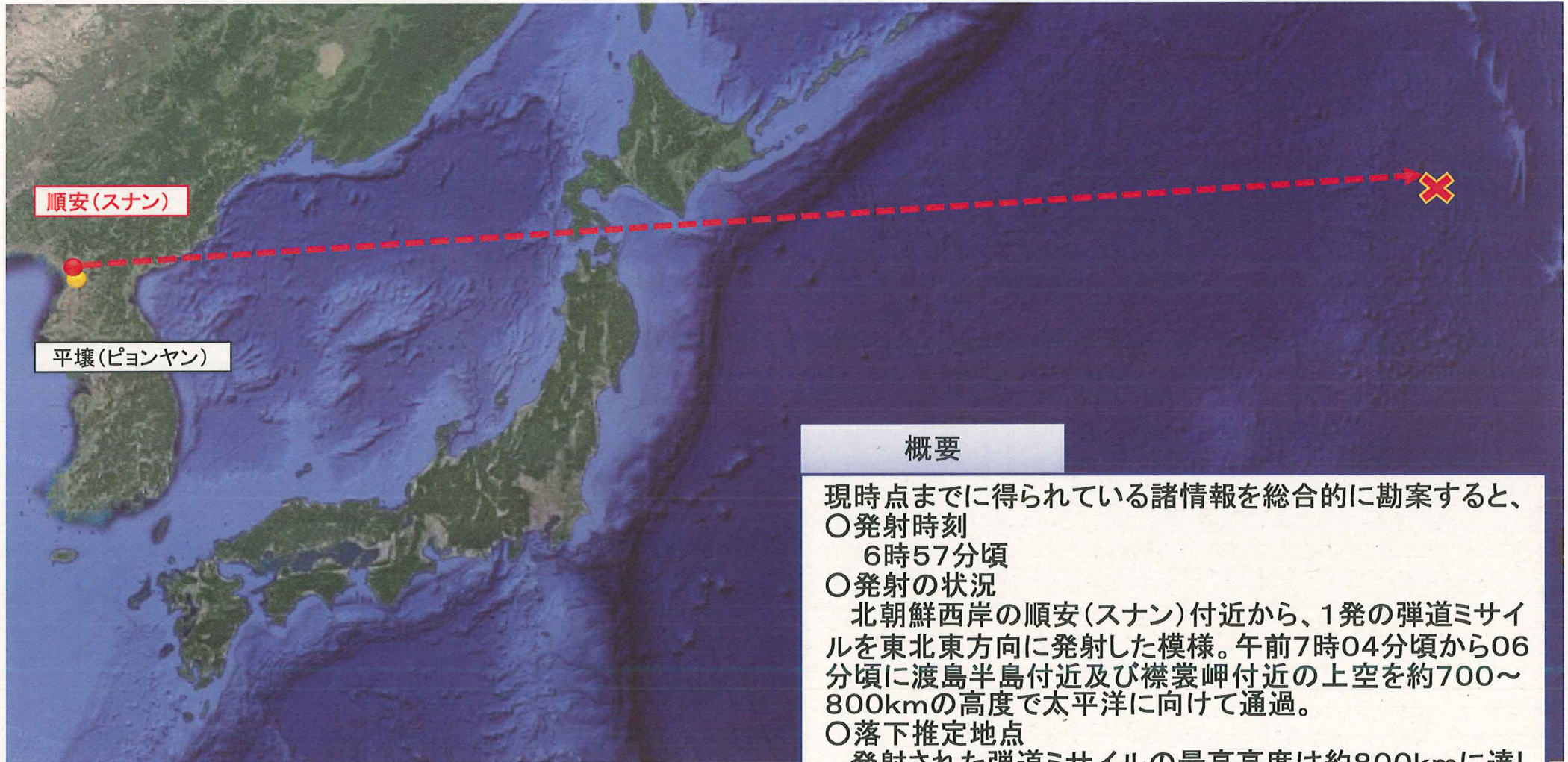


17年9月15日の北朝鮮によるミサイルの発射について (イメージ)

2017年9月15日1300
防衛省



概要

現時点までに得られている諸情報を総合的に勘案すると、

○発射時刻

6時57分頃

○発射の状況

北朝鮮西岸の順安(スナン)付近から、1発の弾道ミサイルを東北東方向に発射した模様。午前7時04分頃から06分頃に渡島半島付近及び襟裳岬付近の上空を約700～800kmの高度で太平洋に向けて通過。

○落下推定地点

発射された弾道ミサイルの最高高度は約800kmに達し、約3,700km飛行し、午前07時16分頃、襟裳岬の東約2,200kmの太平洋上に落下。落下地点は我が国の排他的経済水域(EEZ)外と推定。

○弾種

詳細は分析中(飛行距離等を踏まえれば、本年8月29日に発射された中距離弾道ミサイルであった可能性)。

落下推定地点の位置関係



2016年に行われた北朝鮮による核実験・弾道ミサイル発射事案等

核実験 弾道ミサイル発射

日付	挑発の概要	場所	弾種	目的	飛翔距離
16.01.06	4回目の核実験を実施	豊溪里(プンゲリ)			
16.02.07	「人工衛星」と称する弾道ミサイルを発射	東倉里(トンチャンリ)	テポドン2派生型	試	約2,500km(2段目落下地点)
16.03.03	短距離発射体6発を発射	元山(ウォンサン)付近	300ミリ多連装ロケット(可能性)		約100~150km(韓国合参)
16.03.10	「スカッド」と推定される弾道ミサイル2発を発射	西岸・南浦(ナンポ)付近	スカッド(推定)	訓	約500km
16.03.18	「ノドン」と推定される弾道ミサイル1発を発射	西岸・肅川(スクチョン)付近	ノドン(推定)	—	約800km
16.03.21	短距離発射体5発を発射	東部・咸興(ハムフン)南方	300ミリ多連装ロケット(可能性)		約200km(韓国合参)
16.03.29	短距離発射体1発を発射	元山(ウォンサン)付近	300ミリ多連装ロケット(可能性)		約200km(韓国合参)
16.04.01	短距離地对空ミサイル3発(内2発は失敗)を発射	宣徳(ソンドク)付近	短距離地对空ミサイル(KN-06)(可能性)		約100km(韓国報道)
16.04.15	弾道ミサイル1発を発射	東岸地域	ムスダン(指摘)	—	不明、失敗と推定
16.04.23	潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)1発を発射	新浦(シンポ)沖	SLBM(推定)	—	約30km(韓国合参)
16.04.28	「ムスダン」と推定される弾道ミサイル2発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(推定)	—	不明、失敗と推定
16.05.31	中距離弾道ミサイル(IRBM)1発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(可能性)	—	不明、失敗と推定
16.06.22	「ムスダン」と推定される弾道ミサイル2発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(推定)	試	1発目: 約100km(最大) 2発目: 約400km
16.07.09	潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)1発を発射	新浦(シンポ)沖	SLBM(推定)	—	数km(韓国報道)
16.07.19	弾道ミサイル3発を発射	西岸・黄州(ファンジュ)付近	スカッド及びノドン(推定)	訓	1発目: 約400km 3発目: 約500km
16.08.03	「ノドン」と推定される弾道ミサイル2発を発射	西岸・殷栗(ウンニョル)付近	ノドン(推定)	—	約1,000km (1発は発射直後に爆発)
16.08.24	潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)1発を発射	新浦(シンポ)付近	SLBM(推定)	試	約500km
16.09.05	弾道ミサイル3発を発射	西岸・黄州(ファンジュ)付近	スカッドER(推定)	訓	約1,000km
16.09.09	5回目の核実験を実施	豊溪里(プンゲリ)			
16.10.15	「ムスダン」と推定される弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	ムスダン(推定)	—	不明、失敗と推定
16.10.20	「ムスダン」と推定される弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	ムスダン(推定)	—	不明、失敗と推定

※ 「目的」の欄中、「試」は試験発射、「訓」は訓練発射として北朝鮮が発表していることを示す。なお、「—」については、北朝鮮による発表はなし。

2017年に行われた北朝鮮による核実験・弾道ミサイル発射事案等

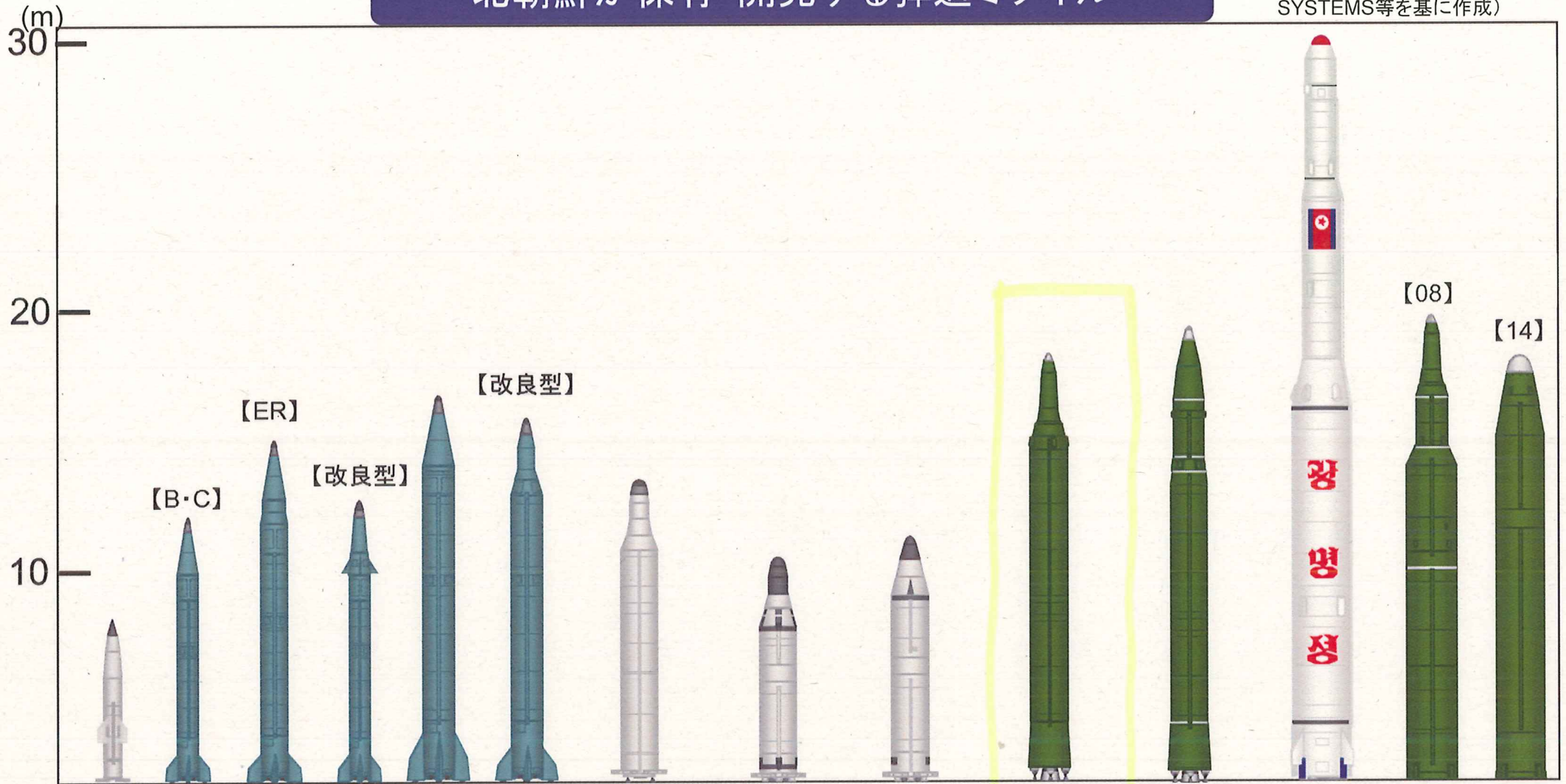
核実験 弾道ミサイル発射

日付	挑発の概要	場所	弾種	目的	飛翔距離
17.02.12	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	固体燃料を使用した新型の地上発射型弾道ミサイル(推定)	試	約500km
17.03.06	「スカッドER」と推定される弾道ミサイル4発を発射	西岸・東倉里(トンチャンリ)付近	スカッドER(推定)	訓	約1,000km
17.03.22	弾道ミサイル1発を発射	元山(ウォンサン)付近	分析中	—	発射後数秒以内に爆発、失敗と推定
17.04.05	弾道ミサイル1発を発射	新浦(シンポ)付近	分析中	—	約60km
17.04.16	弾道ミサイル1発を発射	新浦(シンポ)付近	分析中	—	発射直後に爆発、失敗と推定
17.04.29	弾道ミサイル1発を発射	北倉(プクチャン)付近	分析中	—	約50km離れた内陸部に落下、失敗と推定
17.05.14	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	IRBM級の新型弾道ミサイル(推定)	試	約800km
17.05.21	弾道ミサイル1発を発射	北倉(プクチャン)付近	新型弾道ミサイル(17.02.12と同一)(推定)	試	約500km
17.05.29	弾道ミサイル1発を発射	元山(ウォンサン)付近	スカッドを改良した新型弾道ミサイル(推定)	試	約400km
17.07.04	弾道ミサイル1発を発射	西岸・亀城(クソン)付近	ICBM級の新型弾道ミサイル(推定)	試	約900km
17.07.28	弾道ミサイル1発を発射	舞坪里(ムピョンニ)付近	ICBM級の新型弾道ミサイル(推定)(17.07.04と同一)(可能性)	試	約1,000km
17.08.26	ミサイル又はロケットを複数発射	旗対嶺(キテリョン)付近	分析中	—	約250km(韓国合参)
17.08.29	弾道ミサイル1発を発射	順安(スナン)付近	IRBM級の新型弾道ミサイル(17.05.14と同一)(推定)	訓	約2,700km
17.09.03	6回目の核実験を実施	豊溪里(プンゲリ)			

※ 「目的」の欄中、「試」は試験発射、「訓」は訓練発射として北朝鮮が発表していることを示す。なお、「—」については、北朝鮮による発表はなし。

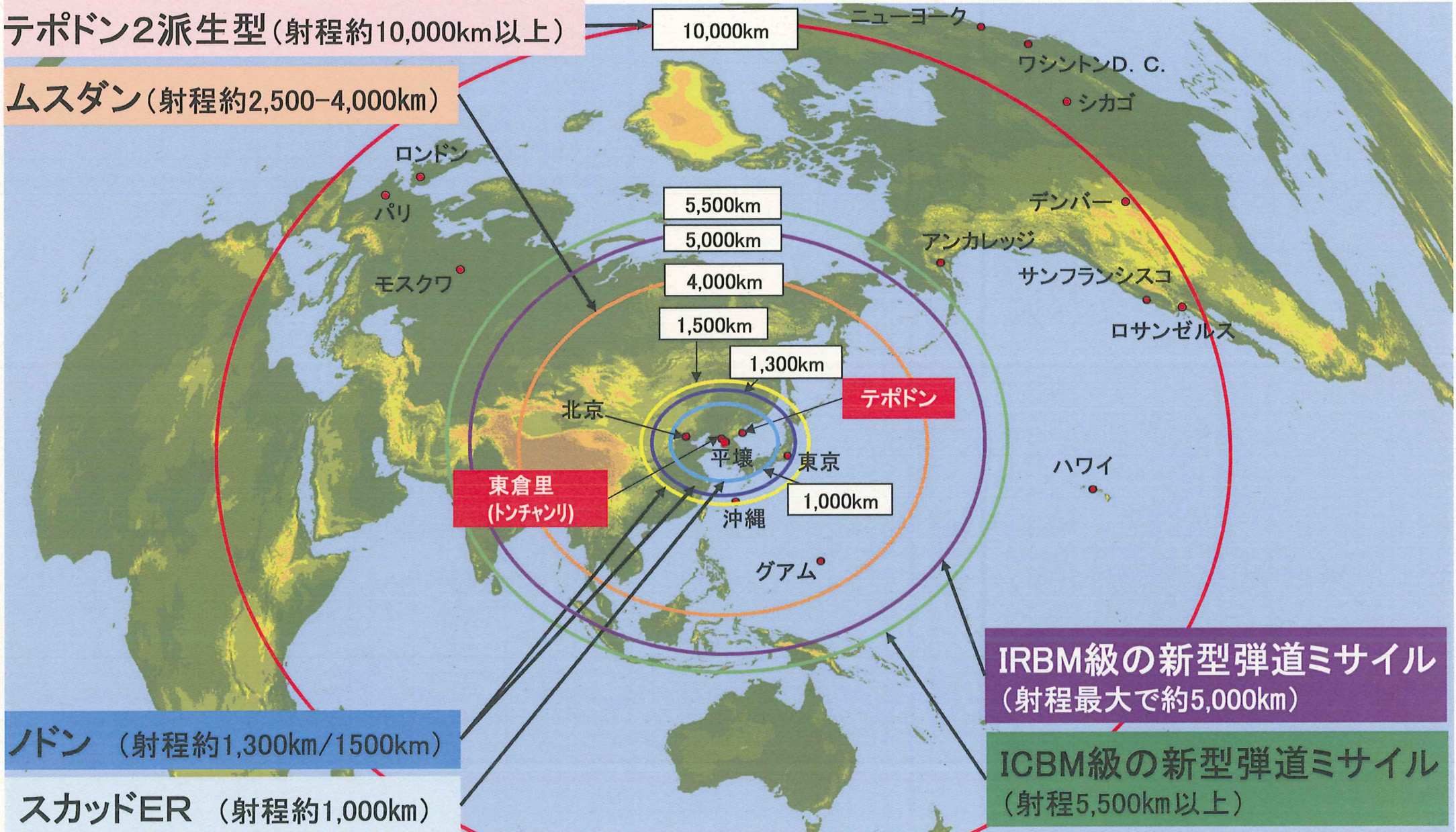
北朝鮮が保有・開発する弾道ミサイル

(JANE'S STRATEGIC WEAPON SYSTEMS等を基に作成)



	トクサ	スカッドB・C・ER ・改良型	ドン・ 改良型	ムスダン	SLBM	SLBM改良型	IRBM級の 新型	ICBM級の 新型	テポドン2 派生型	KN-08/KN-14
射程	約 120km	約300km/約500km/ 約1,000km/ 分析中	約1,300km/ 1,500km	約2,500~ 4,000km	1,000km 以上	1,000km 以上	最大で 約5,000km	5,500km 以上	約10,000km 以上	5,500km以上 (ICBMとの 指摘)
燃料	固体	液体	液体	液体	固体	固体	液体	液体	液体	液体
運用	TEL	TEL	TEL	TEL	潜水艦	TEL	TEL	TEL	発射場	TEL

北朝鮮の弾道ミサイルの射程



※上記の図は、便宜上平壤を中心に、各ミサイルの到達可能距離を概略のイメージとして示したもの

我が国上空を飛翔した北朝鮮による弾道ミサイル発射の状況

